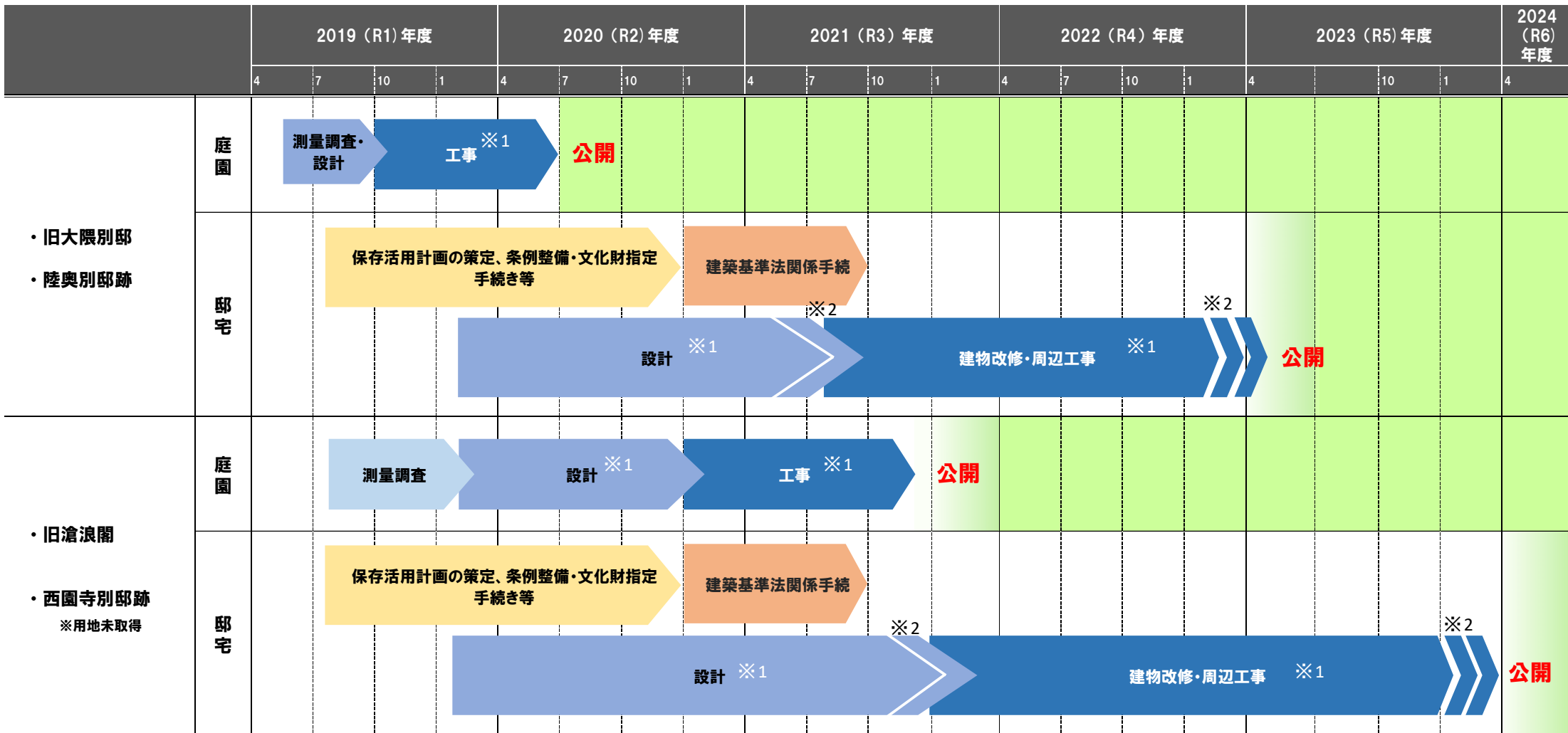


今後のスケジュールについて


明治記念大磯邸園 想定事業スケジュール



※1：入札手続き期間も含み、入札手続き期間は標準期間を想定

※2：設計、工事期間は現時点で想定可能なスケジュールを整理したものであり、今後の詳細な現地調査（老朽度合い等）、保存・活用計画、耐震診断結果等を踏まえた調整により、変更になる可能性がある。

- 2018年に行った明治150年記念公開では、2ヶ月で約2万人の来園者があり、本邸園の早期公開が期待されている。
- 大磯町をはじめとする相模湾沿岸一帯では、湘南の邸園文化の発信を通じた地域活性化に関する取組が進められており、本邸園は湘南の邸園文化を象徴する場として、文化の発信や憩い・交流拠点の役割を担うこととしている。
- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会（※）を契機とした国内外からの交流人口の増加を踏まえ、地域振興への貢献を図るとともに、本邸園の認知度向上に取り組んで参りたい。
※大磯プリンスホテルは、セーリング競技の選手村として利用される予定。



明治150年記念公開の内容をベースとして、旧大隈別邸、陸奥別邸跡の庭園部分の公開に向け、整備を進めることとする。

明治150年記念公開の内容をベースとして、旧大隈別邸・陸奥別邸跡において建物を除いた庭園部分を公開

